

環境デザイン学専攻	研究分野	土質力学	Lab. ID ED06
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>地盤は土粒子・水・空気の三相混合体であるため、挙動のモデル化が難しく、地震時の挙動や豪雨時の斜面崩壊などを予測することを困難にしている。本研究室では、基礎的な研究として「三相混合体の解析モデルの構築」、基礎的研究と実用的研究の架け橋的な研究として「実地盤の破壊面付近での水分量の変化の測定」、応用的な研究として「土の挙動特性を取り入れた防災マップの作成方法の検討」としてGISを用いて地質情報や地形情報を加味したハザードマップの作成方法の研究を行っている。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>1年前期は、研究計画の策定と研究背景に対する理解を深める。 1年後期は、研究計画に基づき修論の前半部分をまとめ、学会等への投稿をする。 2年前期は研究計画の見直し進めながら学会等への参加準備をする。 2年後期に研究をまとめる。 週1回研究室の全体ゼミがあり、後は適宜打合せを行う。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>週1回程度、交代で研究成果や資料調査の結果を発表し、議論を行う。 現位置での計測などフィールドワークもある。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>学士課程と異なり、専門家養成課程であるので、学士課程の延長ではないことに留意すること。 個人の研究課題に関連する幅広い知識を習得し、研究課題の位置を明確にし、何を研究し、どこを改善すべきかを意識しながら取り組むこと。就職時の面接で「こういうことをやりました」と言えるように修士1年生である程度の成果を残せるようにしましょう。</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2018.3	並列タンクモデルによる土砂災害警戒基準作成に関する研究		
2017.3	堤体及び基礎地盤の土質構成を考慮した河川堤防の地震時被害予測に関する研究		
2003.3	個体粒子と流体との相互作用を考慮した個別要素法の開発		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス	takahara *at* staff.kanazawa-u.ac.jp		